

政府情報システム改革検討会 資料

～府省における推進体制の在り方～

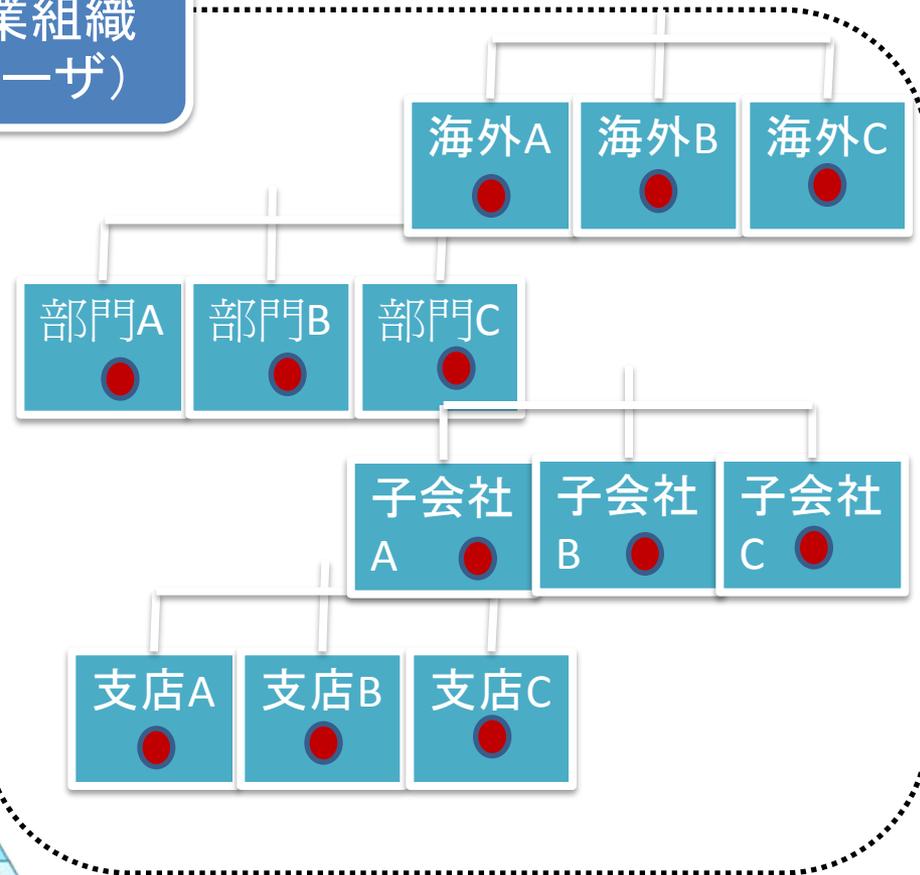
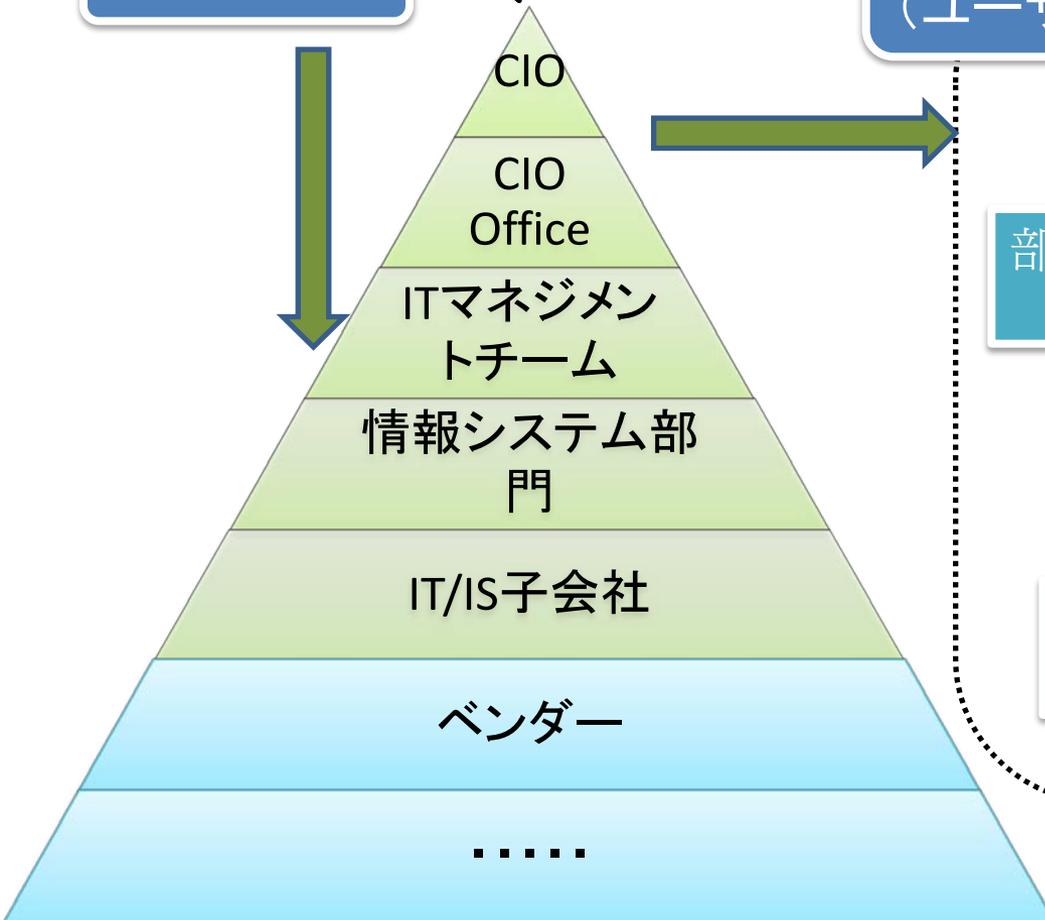
2011.2.14 一橋大学 神岡太郎

民間企業組織

フルセットでもって
いる企業は稀

コーポレート

事業組織
(ユーザ)



● 情報関連スタッフ

統合が求められるのはITだけではない(財務、人事、
マーケティング、PR、---)

リーダーシップと組織化

- CIOを中心としたチーム等の組織化(+人材)

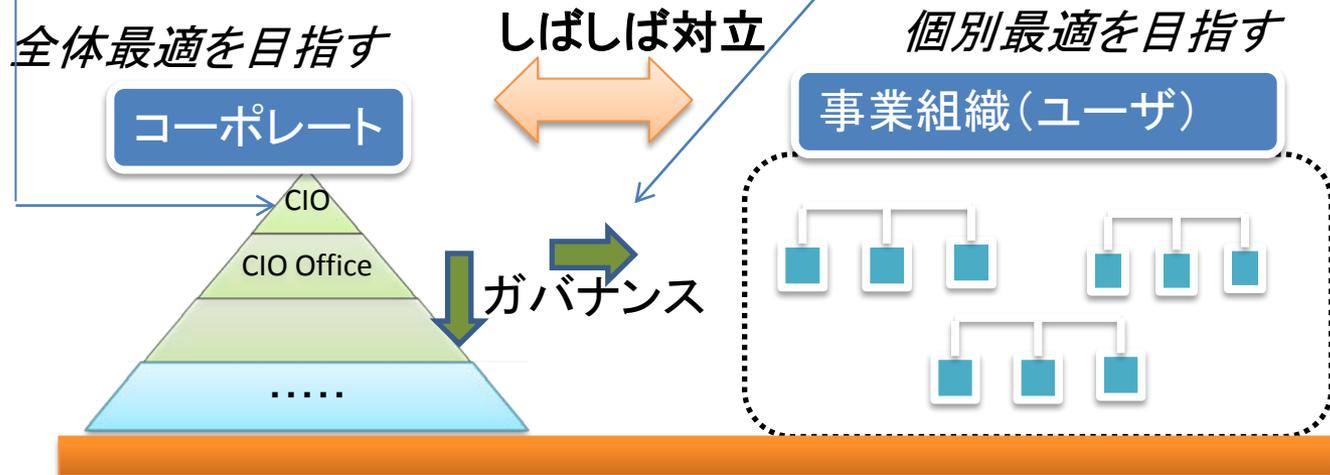
ITガバナンス

- 予算、人事、意思決定、命令、レポート

対立構造

調整機能(ガバナンスで解決できない場合)

- 公式のコミッティー(その決定には従う権限)や非公式の場を提供



基盤となる仕組み

- 情報システムの共通基盤・リソース、Knowledge Management、研修、標準化(開発の仕組み、スキルセット、---)、ユーザに対する意識化

理念、ミッション、カルチャーの共有

- ITは何のためにあり、自分たちの役割は何なのか

CIO+α

優秀なCIOは非常に有用だが、それだけで、すべてがうまくいくわけではない。CIOを中心とする組織やガバナンスとは別に、例えば;

ビジネス戦略は誰が与えるのか？

- 全くのビジネス戦略がないところではCIOは機能しない→経営層の意識化も必要

CIOをトップとするITガバナンスを誰がつくるのか？

- CIO自身がつくるのか？

CIOを採用する仕組みは誰がつくるのか？

- どのようなタイプのCIOが必要かを判断するのか

ISチーム以外に必要なラインがあるのではないかと？

- ISチームは現状のリソースで、機能するものなので、それ以外に構造改革チームや仕組みづくりチームを置く場合がある---CIOの下におかれる場合、CIOもメンバーとするがその外に作る場合がある

自社におけるIT/ISの位置づけを戦略的に決めるのは

- 自社だけではすべてができない。どこまでが自社でどこからがベンダーの仕事なのか？

CIO中心にした間接ガバナンス

主語: CIO or コーポレート側

- 各組織の開発プロジェクトに対してKPIを設定し、測定し、チェック・評価の権限をもつプロセス(担当)もつ
- 予算は各組織(ユーザ)でも、開発の執行権限をもつ
- 開発は各部門でも、開発人材を管理し、各組織に配置する
- PMO(Project Management Office)やVMO(Vender Management Office)に設置し、そこを開発・発注の関所とする
- 透明化:ベンダー側で何が起きているかという情報を把握
- 財務とIT戦略と支出について方向性を擦り合わせることで、間接的に各部門の全体最適に反するシステム開発をコントロールする

注意:統合自体を目的にしない

- トレードオフ(メリット)を考えて、個別にするのかセンターに統合するのかを判断。逆に、個別システムをきっちりつくれる組織でも、全体としてのメリットを損なう場合は、諦めてもらう